

指定管理者制度導入施設の管理運営実績について(令和3年度)

調査表

施設名	宮崎県建設技術センター
指定管理者	学校法人宮崎総合学院
指定期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日(5年間)
県所管部課	県土整備部 管理課

1 施設利用状況

指標	R3	R2	R1	増減理由等
施設利用者数(単位:人)	9,745	10,401	15,605	新型コロナウイルス感染症の感染防止対策のため、施設の閉館や一部利用制限を行ったため利用者が減少している。
利用団体数(単位:団体)	352	450	541	
青年隊入隊数(単位:人)	45	39	36	
コメント	県の管理規則等に基づき適切な施設利用が行われている。 青年隊入隊者数は昨年度に引き続き増加しており、募集活動の効果が出ている。			

2 施設収支状況

(単位:千円)

収入	R3	R2	R1	支出	R3	R2	R1
指定管理料	100,040	100,040	97,981	人件費	50,497	53,756	49,708
その他雑収入	1	1	1	光熱水費	10,615	9,837	10,447
自主事業収入	17	0	273	委託料等	13,380	12,830	11,977
				車両維持費	742	876	631
				施設修繕費	4,558	4,156	4,878
				隊員保険費	757	976	980
				公課費(消費税)	5,704	6,058	5,996
				自主事業経費	17	0	273
				その他	13,745	11,501	13,314
合計(①)	100,058	100,041	98,255	合計(②)	100,015	99,990	98,204
収支差額(①-②)	43	51	51				
コメント	老朽化する施設の修繕費が増加する中、計画的に修繕を行い、その他の経費の節約に努めるなど、効率的・効果的な運営が行われている。						

3 管理運営状況

※下線部分は、令和3年度に新たに取り組んだ内容

事項	実施内容	
維持管理業務	清掃	日常清掃・定期清掃(週5回随時)、特別清掃(研修宿泊前後)
	保守・点検	消防用設備(年2回総合点検・機器点検)、電気工作物(点検月1回)、空調設備(点検年2回)、プール濾過(年1回)、ボイラー設備(点検年2回)
	警備	常駐警備(職員不在時に委託警備)・機械警備(センターが無人となる場合)、警備業務実施要領整備
	修繕	備品・設備点検(随時)、修繕計画策定
	備品等管理	備品台帳点検(随時)、備品管理台帳整備
	安全対策	安全管理点検、救急用品整備、危機管理マニュアル整備、避難訓練(年1回・AED操作訓練1回含む)
	その他	樹木剪定・除草(年3回)、環境整備(随時)、防鼠駆除(年6回)、害虫駆除(年4回)
企画運営業務	サービス提供体制整備	利用者アンケート調査(随時)
	イベント等ソフト面充実	自主事業(講座)の実施(年1回)
	施設設備等ハード面充実	教材備品の整備
	その他	隊員募集活動(オープンキャンパス、学校訪問、重点校の指定)及び進学・就職指導
管理運営体制	情報公開、個人情報取扱の遵守	
コメント	施設の修繕や利用者の要望に速やかに対応できており、利用者満足度調査による評価も高い。産業開発青年隊の募集活動も、年間計画に基づき訪問活動や資料の郵送、新聞広告等の掲載など積極的なPRに努めている。	

4 利用者満足度状況(利用者満足度調査、苦情・要望対応)

調査等方法	アンケート調査(4月～3月にかけて施設を利用した団体対象)	
調査結果、主な苦情・要望内容	その対応結果等	
利用者にアンケート提出を依頼しているが、職員の対応等に対する苦情はなし。		

5 総合評価

評価コメント	必要な管理運営体制のもと、協定書に基づき適正な管理運営が行われている。産業開発青年隊教育においても県内企業による説明会を実施するなど、県内建設業界の人材確保に向けた取組が行われており、評価できる。
今後の課題と対応	建設技術者の育成・確保のために、産業開発青年隊の効果的なPR、教育カリキュラムの充実、県内建設産業への就職率の増加などにより魅力ある青年隊教育を期待する。また、施設の老朽化が進む中、より計画的な維持管理を行う必要がある。